

クラシノコアゲ応援団街頭行動 第21弾 (7/5)

働き方改革関連法案は不十分な議論のまま強行採決

議論の舞台は労働政策審議会へ ～規制緩和だけが進められることに危機感～

連合福島の「クラシノコアゲ応援団街頭行動」は今回で21回を数え、福島駅東・西2カ所において展開し多くの市民の皆さんに訴えました。



連合福島 今野 泰会長

応援団長である連合福島今野泰会長は「働き方改革関連法案は、少子高齢、生産年齢人口減少、経済成長の持続性、社会保障費抑制などを解決するうえで、労働者が意欲を持って働く環境を整え、長時間労働規制や非正規労働者の待遇改善の法整備に大きな関心と期待が高まっていた。長時間労働抑制につながる罰則付き上限規制が設けられた一方、労働時間規制が無くなりかねない『高度プロフェッショナル制度（高プロ）』が導入された。国民の共感も不十分な中で強行に採決されたことは到底容認できず、アベノミクスの規制緩和だけが進められることに益々危機意識が強まった。今後、省令で詳細が定められるが、なし崩し的な取り扱いを阻止するため労働組合の必要性和重要性はより増してきている。市民皆さんのご理解とご支援をお願いしたい」と訴えました。

【福島駅東口】

【福島駅西口】



左から東口で訴える鈴木三男副会長、鈴木茂副事務局長、阿部薫副事務局長、西口で訴える加藤光一事務局長、生亀勝行副会長、山田慎一副会長



「クラシノコアゲ応援団街頭行動」第21弾 福島駅東口と西口で市民の皆さんに訴える連合福島役員の皆さん